

必ず<企画シート作成上の注意>をご確認いただき、ご記入をお願いいたします。

大学名（フリガナ）	学部名（フリガナ）	所属ゼミナール名（フリガナ）
フリガナ）オオサカケイザイホウカダイガク	フリガナ）ケイザイガクブ	フリガナ）ビーエルピートクベツエンシュウキタジマゼミ
大阪経済法科大学	経済学部	BLP 特別演習北島ゼミ

チーム名（フリガナ）	代表者名（フリガナ）	チーム人数（代表者含む）
フリガナ）キャタビー	フリガナ）オオツカ アオイ	4人
Cata:P	大塚 葵	

研究テーマ（発表タイトル）

クラウドファンディングは新たな資金調達になりえるのか

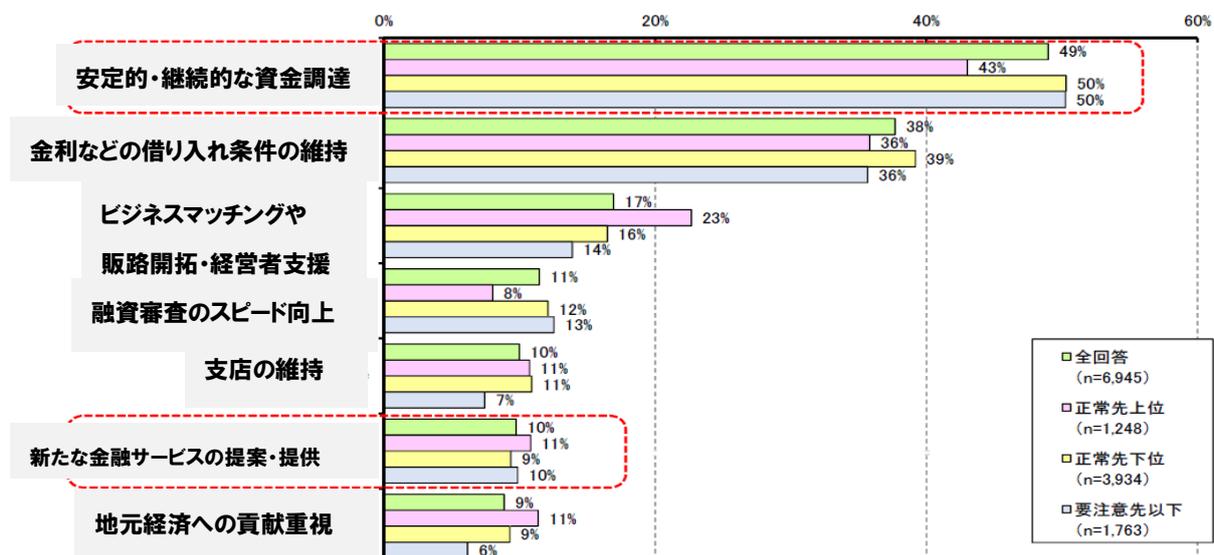
1. 研究概要（目的・狙いなど）

『クラウドファンディングとは、群衆（Crowd）と 資金調達（Funding）という言葉を組み合わせた造語で、「自分の作って歌った曲をCDにしたい」「災害被害にあった図書館を復旧したい」など、様々な理由でお金を必要としている人に対し、共感した人が一口 1,000 円程度からインターネットを通じて出資し支援をする、こうしたインターネット上で多数の人から資金を募る仕組みを言います。』 Readyfor より引用 (<https://readyfor.jp/crowdfunding>)

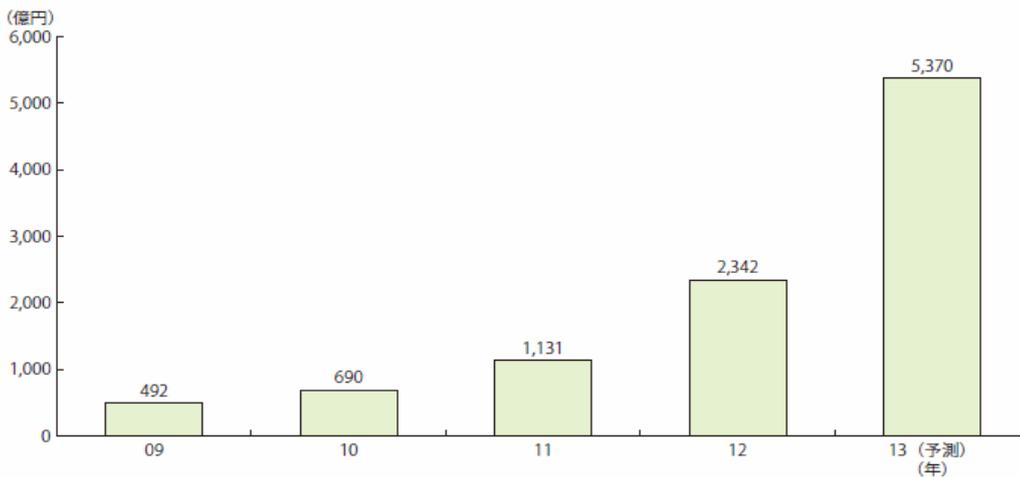
中小企業へアンケート調査を行いクラウドファンディングの認知度や、本当にクラウドファンディングが新たな資金調達方法として適しているのかなどを調査する。

2. 研究テーマの現状分析（歴史的背景、マーケット環境など）

現在中小企業の問題点として資金不足がある。(中小企業白書 2014 より)
 金融庁が掲載している中小企業に向けたアンケートでは、中小企業のニーズとして「ビジネスマッチングや販路開拓」、「融資審査のスピード向上」、「新たな金融サービス」などが挙がっている。これらのニーズを満たせる新しい金融サービスとしてクラウドファンディングが適していると考える。



出典：中小企業白書〔2014〕



資料：Massolution, "The Crowdfunding Industry Report" から中小企業庁作成
 (注) 各年の年末時点での為替レートを反映し、日本円に換算して表示している。

出典：『中小企業白書』(2014 版)

図のように IT を活用した資金調達の世界市場規模は年々増加しており、IT を活用した資金調達が拡大する背景には、IT と金融技術の発達により個人による小口投資が可能になったということが挙げられる。

3. 研究テーマの課題

研究テーマの課題は、中小企業が実際に資金調達に困っているのかを調べ、クラウドファンディングは中小企業にとって有効な資金調達方法になりえるのかを解き明かし、より効率的で活発な経済活動を促進し地域貢献を果たす。

4. 課題解決策（新たなビジネスモデル・理論など）

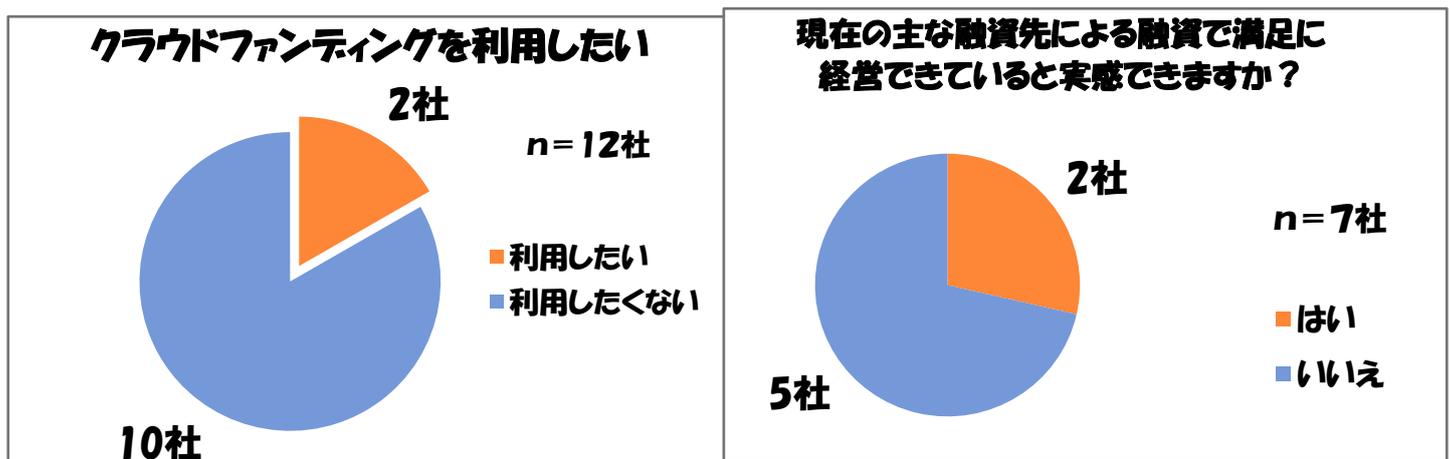
1・アンケート調査

自分たちの大学がある八尾市で活動している個人経営の企業 76 社に向けてアンケート調査を行い返答数は 12 社であった。そこでクラウドファンディングについての認知度・関心度や、企業から見たクラウドファンディングの意見を調査する。

2・クラウドファンディング運営サイト調査

クラウドファンディング運営サイト Readyfor を調査し、どのような企画がクラウドファンディングに適しているのかを調査する。これを調べることで、企業がどのような企画でクラウドファンディングを行えば有効に資金調達できるのかを判明する。

5. 研究・活動内容（アンケート調査、商品開発など）



出典：本研究実施のアンケートより

中小企業に向けたアンケート調査の結果は以下の通りである。返信数が 12 社でクラウドファンディングを利用したくない企業は 10 社のぼり、利用したい企業が 2 社であった。

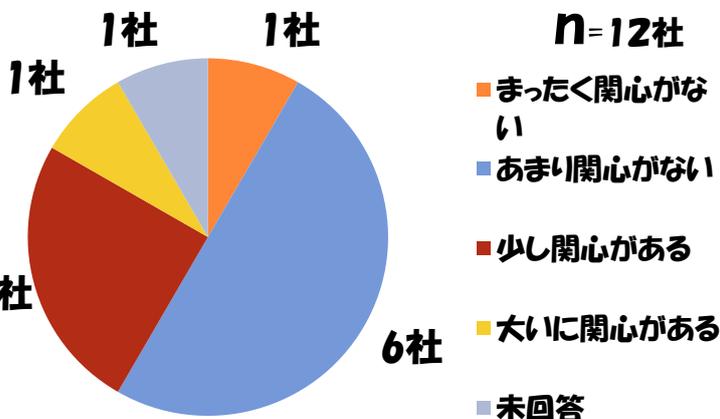
融資で経営に満足している企業は 5 社で 2 社が融資に満足していなかった。つまり、2 社の企業は融資に不満があるといえる。

中小企業のクラウドファンディングに対して関心度は低く、消極的であることが判明した。

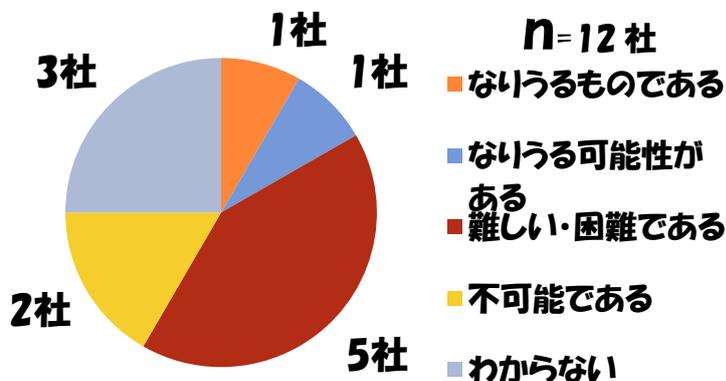
原因として、アンケート対象とした企業経営者の方から、「高齢のために難しいことはわからない」・「インターネットがわからない」・「資金が集まりにくそう」などのコメントを頂いた。

また、クラウドファンディングが新たな資金調達手段になるのかは、新たな資金調達になりうると答えた企業は無く、やはり難しい、不可能であるといった意見が多かった。

クラウドファンディングの関心度



クラウドファンディングは、新たな資金調達手段になるのか

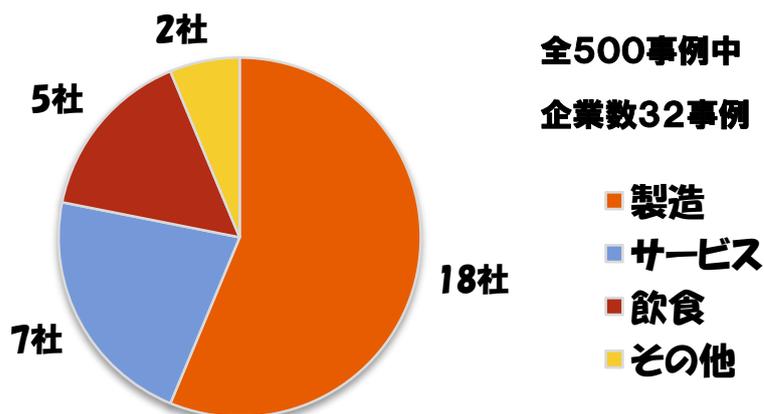


出典：本研究実施のアンケートより

6. 結果や今後の取り組み

アンケート調査の結果、私たちが調査した八尾市の個人が経営している中小企業は資金調達に困っているという自分達が予想していた実態は得られなかった。そこで、どのような事業内容がクラウドファンディングに適しているのか運営サイト Readyfor を利用し成功事例を集計した結果以下の結論に至った。

サイト(Readyfor)調べでは



結論 全体として中小企業の資金調達にクラウドファンディングは適していない部分もあるが、新商品の開発や、新店舗の購入など、一部の資金調達に関しては、資金調達方法として有効である。

7. 参考文献

- 『中小企業白書』（2014年版）全文
- 『中小企業白書』（2016年版）全文
- 板越ジョージ 『日本人のためのクラウドファンディング入門』 フォレスト出版（2015）
- 金融庁 平成27年8月調査結果（27年9月25日公表）

<https://www.fsa.go.jp/singi/kinyuchukai/questionnaire/20180926/01.pdf>

- Readyfor (アクセス日 : 2018 年 11 月 9 日)
<https://readyfor.jp/crowdfunding>
- CAMPFIRE (アクセス日 : 2018 年 11 月 9 日)
<https://camp-fire.jp/>

● パワーポイント内に動画を使用されている場合、動画を使用しているスライドのページをご記入ください。

● 発表時に使用する成果物 (例. 商品化した●●、店舗で配布したパンフレット、調査に使用したアンケート)

【企画シート作成上の注意】 ※「第9回 西日本インカレ(合同研究会) 大会参加要項」も合わせてご確認のうえ、企画シートの作成を行ってください。

- ・本企画シートは審査の対象となり、予選会・本選の前に、審査を行っていただく大学教員・企業の方々に事前にお渡しいたします。
- ・本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1 チーム・1 点提出してください。また、翌年 3 月に公開予定の「大会結果 Web ページ」に掲載されます。
- ・本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1~7 以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。
- ・本企画シートは、作成上の注意を含め、4 ページ以内に収めてください。事務局から審査員に渡す際は、A4 サイズでプリントし、4 ページ目までをお渡しします。
- ・大会参加申込み時点から、チーム編成の変更(チームの人数・交代など)は、「不可」とさせていただきます。ただし、チームメンバーの留学等やむを得ない事情でチーム編成に変更が生じる場合は、西日本インカレ事務局にご連絡ください。事務局より手続きについてご連絡をさせていただきます。なお、参加申込書提出時からのチーム名変更は「不可」とさせていただきます。
- ・企画内容は、未発表の(過去に他誌・HP などに発表されていない)ものに限り、学校内での発表作品は未発表扱いとなります。
- ・商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合、必ず著作権、著作権の使用許諾を得てください。日経 BP 社・日経 BP マーケティング社は一切の責任を負いません。
- ・書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先(使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など)を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合も同様に明記してください。また、Web サイト上の資料を利用した場合は、URL とアクセスした日付を明記してください。
- ・発表時に使用する成果物がありましたらご記入ください。記入がない成果物は大会当日使用することができません。また記入いただいた内容について、事務局から代表者の方に確認をさせていただく場合がございます。
- ・電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。